

フィルムセンター所蔵映画選集 日本のアニメーション

フィルムセンターでは、これまで大小のアニメーション映画上映会を開催してきました。とりわけ昭和46年の「アニメーション映画の回顧」と昭和53年の「日本のアニメーション映画(1924-1958)」はアニメーションの歴史を研究するのに絶好の機会を提供する特集として、研究者、ファンの方々に好評をもって迎えられました。前者は、日本のアニメーション史を多角的に紹介すると同時に、海外の優れた作品も合せて上映したものであり、後者は20番組・126作品を連続上映して日本のアニメーション史を総合的に捉えようとする試みでした。

「日本のアニメーション(1924-1958)」特集から10年を経過した今回、フィルムセンターはさらに前特集を上回る規模で日本のアニメーション映画を10月8日から12月4日まで連続上映致します。内容的にも技術的にも多岐にわたる日本のアニメーションを、所蔵する長短篇152本で38番組に構成して回顧する本特集は、1924年から1979年までの日本映画史に潜む或る力強い潮流を再評価しようとするものであり、多くの映画ファン・研究者にとって意義深いものとなるでしょう。

木村白山、山本早苗、村田安司といった〈漫画映画〉・〈線画〉の先駆者達、千代紙・影絵・色セロファン等の素材を駆使し、その特異な作風によって国際的にも評価された大藤信郎、日本アニメの芸術性を世に知らしめることになった政岡憲三、瀬尾光世、荒井和五郎といった戦前からの作家はもちろんのこと、今日の長篇動画隆盛の基礎を作った菱下泰司、様々な技術を駆使してアニメーションの新しい可能性を開拓した岡本忠成、川本喜八郎らの戦後派の作家にもスポットを当て、のみならず、内田吐夢や寿々喜多呂九平といった日本映画史に大きな足跡を残した映画人がアニメーションに関わった仕事も紹介しています。アニメ・ファンにとどまらず、幅広く映画愛好家、研究家の方々にご観賞をお勧め致します。

1988年9月フィルムセンター

- 上映は竹橋の東京国立近代美術館講堂で行ないます。当会場へは地下鉄東西線・竹橋駅下車、竹橋方面・毎日新聞社出口が便利です。
- 上映は土曜日・日曜日の午後12時30分と午後3時から行ない、それぞれ入れ替え制です。但し、11月3日(木)にも上映があります。
- 開場は上映開始の30分前で、先着順にて270名に限り次第締め切ります。
- 入場料金は、一般350円、学生230円、小人170円です。この料金は当日1回の上映にのみ有効です。
- ● ● は無声、Tはサウンド付またはトーキー、BWは白黒、Cはカラー、Wはワイドを示します。

10月8日(土) 12時30分(計61分)

蟹満寺縁起

1924年作品 製作=奥田秀彦、木村白山、内田吐夢 提供=深田商会映画部 11分・S・BW

姨捨山

1925年作品 製作=東京漫画俱楽部 作画=戸田(山本)早苗 字幕=樺山栄司 撮影=近藤正志 12分・S・BW

蛸の骨*

1927年作品 製作=横浜シネマ商会 原案・脚色=青地忠三 作画=村田安司 撮影=上野行清 9分・S・BW

文福茶釜

1928年作品 監修=青地忠三 漫画=村田安司 撮影=上野幸清 12分・S・BW

朱金昭*(「四十人の盗賊」の改題版)

1928年作品 製作=銀映社 製作者=鈴木俊夫 脚色=東浦康介 操者=東浦潔 作画=上野武夫 撮影=米原広 17分・T・BW

10月8日(土) 3時(計62分)

蛙は蛙

1929年作品 製作=横浜シネマ商会 監修=青地忠三 漫画=村田安司 10分・S・BW

太郎さんの汽車

1929年作品 監修=青地忠三 漫画=村田安司 5分・S・BW

おい等のスキー

1930年作品 監修=青地忠三 漫画=村田安司 9分・S・BW

おいらの野球*

1930年作品 製作=横浜シネマ商会 原案・脚色=青地忠三 作画=村田安司 撮影=上野行清 9分・T・BW

かうもり

1930年作品 監修=青地忠三 漫画=村田安司 11分・S・BW

難船ス物語 牡壳篇 猿ヶ嶋

1930年作品 製作=日活 原作・脚色=清水秀雄 操作・撮影=森屋映治 漫画助手=島森卓二、原田誠一、熊川正雄 漫画製作=政岡憲三 18分・S・BW

10月9日(日) 12時30分(計63分)

こがねの花*

1930年作品 製作=千代紙映画社 原案・脚本・作画=大藤信郎 11分・S・BW

漫画レビュー 春

1931年作品 監修=青地忠三 漫画=村田安司 9分・S・BW
豚平と猿吉

1932年作品 原案=高橋藏二 漫画=村田安司 8分・S・BW
三公と鳴

1933年作品 原作=簡易保険局 監修=青地忠三 漫画=村田安司 20分・S・BW

お猿の大魚*

1933年作品 製作=横浜シネマ商会 原案・脚色=青地忠三 作画=村田安司 7分・S・BW

沼の大将

1933年作品 製作=千代紙映画社 作画=大藤信郎 8分・S・BW

10月9日(日) 3時(計65分)

オモチャ箱シリーズ第3話 絵本1936年

1934年作品 製作=J.O 作画=中野孝夫、田中喜次、舟木俊一、永久義郎、平泰陣、西口熊 音楽=J.O オーケストラ 8分・T・BW

新版 月の宮の王女様(改編版)

1934年作品 作画=村田安司 音楽=三木鶴郎とそのグループ 唄=神田千鶴子 11分・T・BW

お日様と蛙

1936年作品 原作=杉山省三 漫画=宮下萬三 11分・S・BW

新版 居酒屋の一夜(改編版)

1936年作品 作画=村田安司 音楽=三木鶴郎とそのグループ (製作=理研映画) 8分・T・BW

ちんころ平平 玉手箱

1936年作品 作画=大藤信郎 8分・T・BW

唄さわぎ(改編版)*

1936年作品 製作=オールキネマ社、西倉喜代治 9分・S・

BW

漫画のマン吉*

1937年作品 製作=日本電報通信社映画部 作画・演出=山本早苗 9分・S・BW

10月15日(土) 12時30分(計64分)

つぼ

1925年作品 製作=文部省 作画=山本早苗 11分・S・BW

病毒の伝播*

1926年作品 製作=文部省 作画・演出=山本早苗 9分・S・BW

魚の國

1928年作品 製作=文部省 作画=木村白山 11分・S・BW

二つの世界

1929年作品 製作=文部省 監修=青地忠三 漫画=村田安司 11分・S・BW

チュウキチは歸った

1929年作品 製作=文部省 監修=青地忠三 漫画=村田安司 解説=閻屋五十二 録音=映音システム 10分・T・BW

五一ちいさん

1930年作品 製作=文部省 作画=山本早苗 11分・S・BW (部分実写)

10月15日(土) 3時(計67分)

驢馬(ろば)

1930年作品 製作=文部省 監修=青地忠三 漫画=村田安司 10分・S・BW

心の力

1931年作品 製作=文部省 作画=大藤信郎 12分・S・BW

タヌ吉のお話(改編版)

1931年作品 製作=文部省 漫画=村田安司 録音=P.C.L. 伴奏=宮田ハーモニカ・バンド 解説=古川緑波 11分・T・BW

狼は狼だ

1931年作品 製作=文部省 漫画=村田安司 11分・S・BW

兄弟こぐま

1932年作品 製作=文部省 作画=山本早苗 11分・S・BW

動絵狐狸達引(うごきえりのたてひき)

1933年作品 製作=東宝教育映画 監督=大石郁雄 画=市野正二、前田浩 音=杉井幸一、山口淳 11分・T・BW

10月16日(日) 12時30分(計70分)

のらくろ二等兵 教練の巻・演習の巻

1933年作品 製作=横浜シネマ商会 原作=田河水泡 脚色=青地忠三 漫画・演出=村田安司 12分・S・BW

のらくろ伍長

1934年作品 原作=田河水泡 脚色=青地忠三 漫画・演出=村田安司 11分・S・BW

のらくろ二等兵

1935年作品 原作=田河水泡 (少年俱楽部連載「のらくろシリーズ」) 演出=瀬尾光世 音楽=落合朝彦 録音=東亜発声 提供=国民文化映画協会 11分・T・BW

のらくろ一等兵

1935年作品 原作=田河水泡 演出=瀬尾光世 音楽=落合朝彦 提供=国民文化映画協会 10分・T・BW

いなばの国の兎さん*

1935年作品 製作=旭物産合資会社映画部 作画・演出=瀬尾光世 8分・S・BW

忍術火の玉小僧 江戸の巻

1935年作品 製作=日活 監督・作画=田中興志 作曲・編曲=白木義信 録音=大崎正明 作画=舟木春一、永久博郎、酒井七馬、山添良巳、山口滋 字幕=鈴尾一友 10分・T・BW

火の玉小僧 山賊退治

1935年頃作品 製作=日活 監督・作画=田中興志 作曲・編曲=白木義信 録音=中村敏夫 作画=細井太郎、酒井七馬、永久博郎、山添良巳、山口滋、太田ふさ 字幕=鈴尾一友 9分・T・BW

10月16日(日) 3時

與七郎の敬禮

1933年作品 製作=文部省 作画=木村白山 11分・S・BW

天狗退治

1934年作品 作画=大藤信郎 提供=東京シネマ商会 10分・S・BW

お猿の三吉 突撃隊

1934年作品 製作=日本マンガフィルム研究所 作画・監督=瀬尾光世 撮影=杉田三郎 作曲=西垣鉄雄 作画助手=川口長八 録音=映音システム 配給=東和商事映画部 9分・T・BW

お猿三吉 戦ふ潜水艦

1943年作品 製作=日本マンガフィルム研究所 演出=山根幹人 企画・編集=高橋幸次郎 作画・撮影=片岡芳太郎 同助手=北村義雄 音楽=西垣鉄雄 録音=昭和光音工業(後援=海軍省) 12分・T・BW

お猿三吉 奮戦記*

1943年作品 製作=日本マンガフィルム研究所 作画=片岡芳太郎 9分・T・BW

お猿三吉 僕等の海兵团*

1941年作品 製作=日本マンガフィルム研究所、高橋幸次郎 作画=片岡芳太郎 10分・S・BW

10月22日(土) 12時30分(計66分)

證城寺の狸囃子 壇圓右衛門(「壇圓右衛門・化物退治の巻」の改題版)

1935年作品 原作・脚色=魔須田和光 作画監督=片岡芳太郎 録音=日本ラジオトーキー製作所 作曲・指揮=西垣鉄雄 10分・T・BW

小鳥と兎*

1936年作品 製作=佐藤線映画製作所、佐藤吟次郎、千葉洋路 9分・T・BW

べんけい対ウシワカ*

1939年作品 製作=日本動画研究所 原画・監督=政岡憲三 動画=熊川正雄、桑田良太郎 仕上=木村角山 7分・T・BW

あひる陸戦隊

1940年作品 製作=文部省(芸術映画社) 作画=瀬尾光世 13分・T・BW

テク助物語 四十四匹の狼(改編版)

1940年作品 脚色=栗原有蔵 演出=瀬尾光世 10分・T・BW
金太郎

1941年作品 製作=日本映画科学研究所 脚色・原画=桑田良太郎 動画=熊川正雄、土井研二、岡本康、吉村祥、熊本隆繁 背景=村上博彬 撮影=木村角山 撮影補=志水実 彩画=磯部朝子 音楽=武政英策 録音=アグチ・システム 9分・T・BW

海の小勇士

1942年作品 製作=日本映画科学研究所 原作・動画=酒井七馬 作画=大阪マンガ会(伊坂駒七、河井恒雄、島耽美) 整画=谷路夫 撮影=木村角山 録音=アグチシステム 音楽=野村直弘 8分・T・BW

10月22日(土) 3時(計61分)

なまけぎつね

1941年作品 製作=文部省 作画=山本早苗 提供=映画教育中央会 11分・S・BW

マー坊の少年航空兵

1937年作品 製作=佐藤線映画製作所 作者=佐藤吟次郎、千葉洋路 録音=岩谷吉次(岩谷サウンド・システム) 選曲=保瀬薰 解説=牧野周一 効果=木村一 10分・T・BW

マー坊の大陸秘境探検*

1938年作品 製作=佐藤線映画製作所 作画=佐藤吟次郎、千葉洋路 10分・T・BW

マー坊の鉄血陸戦隊(マー坊シリーズ第6篇)

1941年作品 製作=佐藤線映画製作所 作=佐藤吟次郎、千葉洋路 録音=岩谷サウンド・システム 11分・T・BW

マー坊の南海奮戦記

1942年作品 製作=佐藤映画製作所、佐藤吟次郎 演出=千葉洋路 録音=岩谷サウンド・システム 12分・T・BW

マー坊の落下傘部隊(不完全版)

1943年作品 製作=佐藤映画製作所、佐藤吟次郎 演出=千葉洋路 後援=海軍省 6分・T・BW

10月23日(日) 12時30分(計63分)

新猿蟹合戦

1939年作品 製作=日本動画研究所 作と監督=政岡憲三 提供=奥商会教育映画部 11分・S・BW

お蝶夫人の幻想

1940年作品 製作=荒井和五郎、飛石仲也 作詩・作曲・独唱=三浦環 合唱=三浦環声楽団 提供=朝日映画 12分・T・BW

ジャックと豆の木*

1941年作品 製作=朝日映画 原案・構成・撮影=荒井和五郎、飛石仲也 音楽=福田宗吉 15分・S・BW

アリチャン

1941年作品 製作=文部省(芸術映画社) 作画=瀬尾光世 11分・T・BW

翻球肉彈戦

1943年作品 脚本・背景=高木一郎 演出=桑田良太郎 撮影=本庄吉雄 作曲・指揮=呉泰次郎 演奏=大東亜交響楽団 音響・効果=木村一 調音=大村三郎 方式=土橋式松竹フォーン 動画=熊川正雄 同助手=土井研二、山室正男、木村一郎、鎌田惣助 配給=映画配給社 15分・T・BW

10月23日(日) 3時(計66分)

動物防諜戦

1941年作品 製作=宏昌漫画映画製作所 演出・作画=鈴木宏昌、古沢秀雄 撮影=下倉彌一郎 提供=関東配電㈱、国光教育映画社 10分・T・BW

チュウウ児の羽衣

1941年作品 作画・撮影=山口貞三 11分・S・BW

かぐや姫*

1942年作品 製作=朝日映画社 原案・構成・撮影=荒井和五郎、飛石仲也 作詞=横尾三千代 作曲=小船幸次郎 独唱=葦原邦子 25分・S・BW

敵機來らば

1942年作品 作画=山本早苗 9分・T・BW

お山の總動員

1942年作品 製作=加治商会 画=山本早苗 推薦=大蔵省 10分・T・BW

10月29日(土) 12時30分(計63分)

協力防空戦(協力防空陣)

1942年作品 製作=宏昌漫画映画研究所 作画・構成=芦田宏昌 作画=福田里三郎、大工原章、坂上信次 撮影=鈴木京一 提供=国光教育映画社 10分・T・BW

芋と兵隊

1942年作品 製作=塙本嘉次郎 作画・撮影=片岡芳太郎 音楽=福田宗吉 装置=北村義雄 録音=朝日映画 後援=陸軍省報道部 11分・T・BW

くもどちゅううりっぷ

1943年作品 製作=松竹 企画=熊木喜一郎 原作・作詩=横山三智子 脚色・演出・撮影=政岡憲三 動画=桑田良太郎、熊川正雄 同助手=土井研二、山本三郎、木村阿弥子 背景=村上博彬、岡本康 撮影補助=本庄吉雄 編輯=吉村祥 作曲・指揮=弘田龍太郎 唄=村尾護郎、杉山美子 演奏=松竹交響樂団 録音=東亜发声 配給=映画配給社 15分・T・BW

マレー沖海戦

1943年作品 製作=横浜シネマ、大藤信郎 後援=海軍省 26分・T・BW

10月29日(土) 3時(計66分)

桃太郎の海鷺

1942年作品 製作=芸術映画社、大村英之助 演出・撮影=瀬尾光世 音楽=伊藤昇 技術・構成=持永只仁、田邊利彦、橋本珠子、塙本静世 効果=木村一 33分・T・BW

フクチヤンの潛水艦*

1944年作品 製作=朝日映画社 原作=横山隆一 脚色=滋野辰彦 動画=前田一 演出=関屋五十二、横山隆一 撮影=持永只仁 唄=吉川緑波 提供=映画配給社 後援=海軍省 30分・T・BW

10月30日(日) 12時30分

桃太郎 海の神兵

1945年作品 製作=松竹 構成=熊木喜一郎 脚本・演出=瀬尾光世 影絵=政岡憲三 挿話=小出正吾(「東印度童話集」より) 音楽監督=古閑裕而 作詩=サトウハチロー 演奏=大東亜交響樂団、松竹軽音樂団 合唱=ニッヂク合唱団 主題歌=ニッヂク 後援=海軍省 74分・T・BW

10月30日(日) 3時(計68分)

蜘蛛の絲

1946年作品 製作=三幸スタジオ 原作=芥川竜之介 演出・作画=大藤信郎 10分・T・BW

森の鍛冶屋

1946年作品 制作技術・原作・監督=土井研二 脚色=山室正男 撮影=浅野完 背景=安井忠夫 線絵=林修 同助手=上田哲雄、高木玉枝、椿井マリ子、春川澄子 作曲・指揮=弘田龍太郎 演奏=東京放送管絃樂團 合唱(ピクター専属)=鳴海信輔(テノール)、竹山逸郎(バリトン)、東辰三(バス)、木村一(ギター) 録音ステーディー=朝日映画社録音部 8分・T・BW

マッヂ賣りの少女

1947年作品 製作=日本漫画映画社、本多春雄 演出=荒井和五郎 同助手=須賀嘉行 作画助手=岡見第三、柿田清二、高木祐子 音楽=安部盛 演奏=ピクター室内管絃樂團 舞踊・

振付=石井漢 録音=東亜発声 9分・T・BW

まさかりかついで

1948年作品 原作=上金好祐 脚色・演出=古澤日出夫 作曲・指揮=伊藤宣二 楽団=コロムビア・オーケストラ 6分・T・BW

鶏になったボチ

1948年作品 製作=京都映画社 企画=木村角山 脚色・演出=寿々喜多呂九平 動画=神脇隼男・小沼武、福森繁 背景=鈴木春雄 撮影=木村久次郎 音楽=高橋半 録音=長谷川勝昭 現像=白波瀬武男 9分・T・BW

キツネとヒヨコ

1947年作品 製作=近代映画社、鳥羽和一(提供)、月村正雄(製作) 原作=小柳耕二 監督=森野佐登志 作画=里見修 美術構成=加藤喜友 撮影=枝島昭 選曲=岸清 擬音=吉田貢 9分・T・BW

キツネとサーカス

1948年作品 製作=近代映画社、鳥羽和一(提供)、月村正雄(製作) 原作=小柳耕二 監督=森野佐登志 作画=里見修 美術構成=加藤喜友 撮影=枝島昭 音楽効果=岸清 擬音=吉田貢 9分・T・BW

キツネと子守唄

1948年作品 製作=近代映画社、鳥羽和一(提供)、月村正雄(製作) 監督=森野佐登志 原作=小柳耕二 作画=里見修 美術構成=加藤喜友 撮影=枝島昭 音楽効果=岸清 擬音効果=吉田貢 7分・T・BW

11月3日(木) 12時30分(計63分)

ぼっばやさん のんき駅長の巻

1948年作品 製作=日活、日本動画社、井関輝雄 脚本=松崎與志人 演出=熊川正雄 動画=安部幸毅、濱桂太郎、森康二 線描=吉崎一夫 彩画=東理仁朗 背景=中山正美 撮影=戸田泰次 音楽=坂本良隆 13分・T・BW

のんき機関士

1949年作品 東宝教育映画、日本動画 脚本=松崎與志人 演出=熊川正雄 音楽=坂本良隆 録音=保坂友明 効果=成田梅吉 撮影=戸田泰次 現像=東宝現像所 動画=浜桂太郎、安部幸毅、古沢秀雄、福井英一、もりやすじ 背景=中山正美 11分・T・BW

ムクの木の話

1947年作品 製作=東宝教育映画、湯原甫 作=丸山章治 動画=若林敏郎、上野武夫 背景=田中秋男 仕上=堀内好夫 造型=村主彦 撮影=山田耕造 照明=岸田九一郎 作曲=早坂文雄 指揮=上田仁 演奏=東宝交響楽団 録音=東宝サウンドデパートメント 現像=東宝フィルムラボラトリ 20分・T・BW

古池繪巻 蛙と狐

1949年作品 製作=東宝教育映画、湯原甫 脚本・演出=西尾善行 動画監督=上野武夫 撮影=山田耕造 録音=丸山國衛 現像=東宝現像所 原画=山田順治 作画=菱寄金二、鈴木淳夫、奈良次雄 線描=田中浅男、河部夏樹 造型=村主彦 音楽=安部盛 演奏=東宝管絃樂団 音響効果=園田芳龍 9分・T・BW

動物大野球戦

1949年作品 製作=東宝教育映画、山本善次郎 脚本=桑木良三 演出=戸田泰次、熊川正雄 録音=小沼渡 効果=園田芳龍 現像=東宝現像所 音楽=坂本良隆 声帶模写=木下華声 9分・T・BW

11月3日(木) 3時(計60分)

すて猫トラちゃん

1947年作品 製作=東宝教育映画、井関輝雄 脚色=佐々木富美男 演出=政岡憲三 作詞=佐伯孝男 作曲・指揮=服部正 演奏=東宝交響楽団 録音=岡崎三千雄 音響効果=園田芳龍

現像=東宝ラボラトリ 作画・撮影=日本漫画映画社 21分・T・BW

トラちゃんのカンカン虫

1950年作品 製作=東宝教育映画、山本善次郎 脚本=松崎與志人 演出=政岡憲三 作画=日本動画社 動画=熊川正雄、安部幸毅、浜桂太郎、木下敏治、古沢秀雄、もりやすじ 背景=中山正美 線描=一ノ瀬千代子 彩画=小堺恒子 撮影=戸田泰次 作曲・指揮=坂本良隆 演奏=コロンビアオーケストラ 録音=東亜発声 唄の配役=三枝君子(トラちゃん)、安斎愛子(三毛ちゃん)、村尾謙郎(ドラ) 10分・T・BW

トラちゃんと花嫁

1948年作品 製作=井関輝雄 脚本=松崎與志人 演出=政岡憲三 動画=熊川正雄、中島清、林義雄、安部幸毅、浜桂太郎、林康二 線描=吉崎二夫 彩色=東理仁朗 背景=中山正美 撮影=戸田泰次 作曲・指揮=服部正 演奏=東宝交響楽団 録音=東宝スタジオ、岡崎三千雄 15分・T・BW

トラちゃんの冒險

1955年作品 製作=日動映画社、山本早苗 脚本・監督=湯原甫 作画監督=大工原章 動画=長沼寿美子、若松一、岡田弥生、内山孝 線描=進藤美津子 彩色=伊藤澄子、寺千賀雄、田島実、岡本真佐子、森川和代、石田和歌枝 背景=江古田一平 撮影=高城泰策、石川光明 現像=電通映画社 音楽=坂本良隆 効果=木村一 録音=金谷常三郎 配給=教育映画社 14分・T・BW

11月5日(土) 12時30分(計62分)

カチカチ山の消防隊

1947年作品 製作=日本漫画映画社、村田安司 演出=小幡俊治 7分・T・BW

小人と青虫

1950年作品 製作=東宝教育映画、日本動画社、山本早苗 原作=肥塚あきら 脚本=松崎與志人 演出=古沢秀雄 作画=熊川正雄、浜康雅、もりやすじ、北島道雄、小幡俊治 背景=大工原章 撮影=東理仁朗 録音=東宝撮影所、岡崎三千雄 音楽=坂本良隆 16分・T・BW

団子兵衛捕物帖 開け一、ごまの巻(「四十人の盗賊」の改題版)

1952年作品 製作=千代紙映画社 演出・作画=大藤信郎 録音=日黒スタジオ 台詞=七ヨー会 作曲=紙恭輔 背景=熊川正雄 10分・T・A *「朱金昭」(1928年)とは無関係。

聖書幻想譜 アダムとイブ

1951年作品 製作=小西六写真工業、エス・シー・ピー 構成・演出=大藤信郎 編曲・指揮=津川主一(ハイドン作曲「天地創造」) 演奏=コロムビア管弦楽団 合唱=ハッハヘンデル協会 台詞=綱島初子(朗読)、真弓田一夫(神様)、白井正明(ダム)、鎌田彌恵(イブ)、巖金四郎(蛇) 録音=理研映画 彩技術=さくらカラーシステム 色彩現像=日本色彩映画社 8分・T・C

くじら(英語タイトル版)

1952年作品 製作=大藤スタジオ 作画・演出=大藤信郎 音楽=塚原哲夫 8分・T・C

魔法の靴

1951年作品 製作=小西六写真工業、S. C. P. 脚色・演出=片岡芳太郎 作曲・指揮=竹岡信幸 演奏=コロムビア管弦楽団 振付=谷桃子 舞踊=石井智子 色彩撮影・現像=日本色彩映画社(さくらカラーシステム) 録音=東亜発声映画 7分・T・C

日本童話 浦島太郎

1952年作品 製作=日本視覚教材、配島央二、岡本昌雄 脚色=村上良哉 演出=片岡芳太郎 作画=上金史明、海江田妙子、岡本真佐子、阿部正明、齊藤圭子、白浜豊樹 背景=石川雅夫 音楽=竹岡信幸 振付=谷桃子 撮影=山田耕造(さくらカラーシステム) 演奏=コロムビア管弦楽団 録音=東亜発声映画 5分・T・C

11月5日（土） 3時（計71分）

セロひきのゴーシュ

1949年作品 製作＝日本映画社、田中喜次、小野一郎 原作＝宮沢賢治 脚色・演出＝田中喜次 作画＝黒田外喜男、岩村加代 撮影＝鈴木喜代治 作曲＝坂本良隆 セロ独奏＝鈴木聰 台詞＝劇団東童 演奏＝コロムビア管絃楽団 録音＝東亜発声 21分・T・BW

ポン助の腕くらべ

1951年作品 製作＝東宝教育映画 作画監督＝大石郁雄 作画＝若林敏郎 音楽＝池壩 9分・T・BW

王女とゆびわ

1956年作品 製作＝東映 企画＝赤川孝一、山根能文 脚本・演出＝上原信（印度詩劇「シャクンタラー姫」より） 美術＝中本達也 撮影＝佐藤昌道 照明＝堀源吉 音楽＝森健二 編集＝福井貞男 録音＝清島竹彦 朗読＝北原文枝 15分・T・BW

こねこのらくがき

1957年作品 製作＝東映動画 企画＝赤川孝一、山本早苗 演出＝萩下泰次 音楽＝伊藤宣二 撮影＝石川光明 効果＝木村一 作画＝森やすじ、大工原章、市野正二、長沼寿美子、内山孝、寺千賀雄、田島実、中島清、進藤みづ子、山田順治 配給＝東映 12分・T・BW

かつばのばあ太郎

1957年作品 製作＝東映 企画＝赤川孝一 演出・原画＝花野原芳明 補佐＝熊川正雄 音楽＝伊藤宣二 背景＝六郷僚一 撮影＝森武雄 録音＝森武 動画＝笛山茂、野沢和夫、内山孝、寺千賀雄、喜多真佐武、坂本雄作、紺野修司、中村和子 13分・T・BW

11月6日（日） 12時30分（計67分）

ありとはと

1953年作品 製作＝日動映画、山本早苗 脚本・演出＝湯原甫 撮影＝高城恭策、石川光明 音楽＝坂本良隆 作画＝古沢日出夫、森やすじ 動画＝進藤進、新城一、長沼寿美子、本所茂雄、市野正二 彩画＝進藤光子、岡田弥生、伊藤澄子、増井和弘 背景＝大工原章 配給＝教育映画配給社 16分・T・BW

五四の子猿たち

1956年作品 製作＝電通映画社、教育映画配給社、人形映画製作所、稻村喜一 脚本＝田中喜次 演出＝持永只仁、田中喜次 撮影＝岸次郎 美術＝吉田謙吉 音楽＝加藤三雄 配給＝教育映画配給社 16分・T・BW

『船』*（英語タイトル版）

1956年作品 製作＝大藤スタジオ 作画・演出＝大藤信郎 音楽＝平井康三郎 合唱＝響友会合唱団 筝＝中島靖子社中 録音＝目黒スタジオ 11分・T・C（フジカラー）

一寸法師

1956年作品 製作＝日動映画、山本早苗 脚本・演出＝萩下泰司 原画＝大工原章 動画＝市野正二、長沼すみ子、岡田弥生、内山孝、寺千賀雄 描線・彩色＝進藤美津子、伊藤澄子、本田敏郎、山田みよ子 背景＝中島清 撮影＝石川光明、田島実 音楽＝横田昌久 効果＝木村一 録音＝中野倫治、アオイスタジオ 15分・T・BW

こうもり

1958年作品 製作＝中井プロダクション 作画監督＝上野武夫 動画＝東喜三郎、田中和男、押田守人、井山忠行、高松次郎、鶴岡弘康、清水孝、宮島英作、石山ユミ 背景＝荒木寒山、田村宗太郎 色彩指導＝難波田龍起 音楽＝吉沢博 撮影＝日本アニメーション 録音＝葵スタジオ 現像＝東洋現像所 10分・T・BW

11月6日（日） 3時（計64分）

古事記抄 天の岩戸開きの巻（不完全版）

1955年作品 製作＝神社本庁、大藤プロ 企画＝庄本光政 構成＝小野祖教 演出・作画＝大藤信郎 脚色考証＝岡田米夫 時代考証＝平沢定人 作詩＝白田碧洋 作曲＝平井康三郎 管弦樂＝アンサンブル・ゼフィール 合唱＝響友会合唱団 背景＝中島喜美 録音＝目黒スタジオ 台詞＝劇団不二 彩画＝大藤芳枝 8分・T・BW

古事記物語 第貳篇 八岐大蛇退治（英語タイトル版）

1956年作品 製作＝神社本庁、大藤プロ 作画・演出＝大藤信郎 録音＝目黒スタジオ 作曲＝平井康三郎 合唱＝響友会合唱団 箏＝中島靖子社中 台詞＝草の会 11分・T・BW

大国主命といなばの兔*（「出雲民族と大和民族」）

1957年作品 製作＝神社本庁、千代紙映画社 企画＝庄本光政 構成＝小野祖教 作画・演出＝大藤信郎 脚色考証＝岡田米夫 時代考証＝平沢定人 作詩＝白田碧洋 作曲＝平井康三郎 台詞＝劇団不二 11分・T・BW

古事記物語 天孫降臨の巻

1958年作品 製作＝神社本庁 企画＝庄本光政 構成＝小野祖教 演出＝大藤信郎 考証＝岡田米夫、平沢定人 作詩＝白田碧洋 音楽＝平井康三郎 9分・T・P.C

古事記物語 皇孫家之 三つの宝

C.1959年 製作＝大藤プロ 作画・演出＝大藤信郎 録音＝目黒スタジオ 作曲＝平井康三郎 合唱＝響友会合唱団 箏＝中島社中 背景＝中島喜美 台詞＝劇団アシ、草の会 彩色＝大藤芳枝 考証＝神社本庁 27分・T・BW

11月12日（土） 12時30分

祝迦の生涯（「大聖祝迦・前後篇」の改題再編版）

1961年作品 製作＝三幸スタジオ 企画・制作＝原島淑郎 作画・構成・演出＝大藤信郎 演出＝高波三郎 指導＝櫻井栄章 解説＝高橋博 録音＝戸越時吉 選曲・効果＝木村一 作曲・指揮＝本多鉄磨 合唱＝東京ヴォーカル・グループ スタッフ＝村上冬樹、池田忠夫、恩田清二郎、長浜藤夫、纓片達雄、弥富光夫、中原成男、池田よしえ、春山葉子、尾崎勝子、田中キク子、武内英子、翠敏夫、木村恵、清水比文、村上幹夫、宮沢儀、石田明、小川海作、伊島弘一、加藤静夫、吉原明、明石悠子 70分・T・BW（部分着色版）・W

11月12日（土） 3時（計73分）

黒いきこりと白いきこり

1956年作品 製作＝日動映画、教育映画配給社、山本早苗 原作＝浜田廣介 脚色＝森康二 演出＝萩下泰司 原画＝森康二、熊川正雄 動画＝大工原章、市野正二、長沼寿美子、進藤進、内山孝、寺千賀雄 描線・彩画＝笛森圭、進藤美津子、田島実、岡田弥生、山田みよ子、伊藤澄子、川端康子 背景＝中島清 撮影＝石川光明、佐倉紀行 音楽＝斎藤高順 効果＝木村一 録音＝中野倫治 16分・T・C

ポロンギタ-

1959年作品 製作＝学習研究社、古岡勝 企画＝原正次、山本英夫 脚本・演出＝小野豪 製作担当＝神林伸一 撮影・照明＝中村聖、平井寛 アニメーション＝有馬征子、新免郁子、千原玲子 人形装置＝高山良策、佐々木章、加藤清治 衣裳＝高山とし子 音楽＝林光 振付＝谷桃子バレー団 効果＝木村一 録音＝田中義造 現像＝東洋現像所 声の出演＝川久保潔、須永宏、加藤玉枝、伊島幸子、斎藤隆、白坂道子 26分・T・C

かもとりごんべえ

1961年作品 製作＝学研映画、古岡勝 企画＝原正次 脚本・演出＝神保まつえ 撮影＝秦吏志 撮影助手＝矢島勲 アニメーション＝有馬征子、飯田純子 人形＝佐々木章 装置＝平井稔 音楽＝市場幸介 録音＝田中義造 声の出演＝内村軍一、川久保潔、斎藤隆、篠田節夫、木下喜久子、くるみ合唱団 現像＝東洋現像所 15分・T・C

夢見童子

1958年作品 製作=東映 企画=赤川孝一、山本早苗 構成・原画=露谷虹児 背景=糸井俊二 音楽=伊藤宣二 錄音=森武 撮影=石川光明 進行=茂呂清一 作画=長沼寿美子、加藤洋子、寺千賀雄、太宰真知子、喜多真佐武、進藤みつ子、藤井武、山田みよ、松隈玉江、伊藤澄子、中島清、前場孝一 15分・T・C

11月13日（日） 12時30分

白蛇伝

1958年作品 製作=東映、大川博 企画=高橋秀行、赤川孝一、山本早苗 原案=上原信 脚本・演出=萩下泰司 構成・美術=岡部一彦、橋本潔 音楽=木下忠司、池田正義、鏑木創 台詞構成=矢代静一 原画=大工原章、森康二 背景=草野和郎、前場孝一 動画=大塚康生、坂本雄作、喜多真佐武、紺野修司、中村和子、寺千賀雄、楠部大吉郎、長沼寿美子、藤井武、加藤洋子、松隈玉江、赤坂進 トレイス・彩色=進藤みつ子、山田みよ、伊藤澄子、本橋文枝、宮崎正子 撮影=塚原孝吉、石川光明 錄音=森武、小松忠之 編集=宮本信太郎 音響効果=吉武富士夫 風俗考証=杉村勇造 進行=稻田伸生 声の出演=森繁久彌、宮城まり子（共に東宝） 79分・T・C

11月13日（日） 3時

少年猿飛佐助*

1959年作品 製作=東映動画、大川博 企画=高橋秀行、山本早苗 原作=檀一夫（読売新聞連載） 脚本=村松道平 演出=萩下泰司、大工原章 原画=大工原章、吉沢日出夫、大塚康生、森康二、熊川正雄 動画=楠部大吉郎、寺千賀雄、中村和子、紺野修司、喜多真佐武、杉山卓、奥山玲子、太宰真知子、永沢詢、吉田迪彦、堀川豊平 仕上=進藤みつ子 美術=進藤誠吾、小山礼司 背景=横井三郎、浦田又治、伊藤主計 色彩=前場孝一 造型=佐藤文則 撮影=大塚晴郷、石川光明、山本明生 錄音=加瀬寿士、森武 摄影=山本諭 音楽=船村徹 作詩=星野哲郎、岩瀬ひろし 佐助の唄=上高田合唱団 おゆうの唄=久城啓子 山賊の唄=フォア・コインズ 和楽=玉藻会連中 編集=宮本信太郎、井草寛二郎 振付=花柳啓之 殺陣=足立岱二郎 時代考証=佐多芳郎 進行=茂呂清一 声の出演=中村賀津雄（真田幸村）、桜町弘子（おゆう）、宮崎照男（猿飛佐助）、松島トモ子（おけいちゃん）、薄田研二（戸沢白雲齋）、赤木春恵（夜叉姫おもん）、吉田義夫（山嵐の権九郎）、堺駿二（ばったの三次）、伊藤亮英（おかげらの金太）、岸田一夫（門番）、杉山徳子、岸井明、麻生みつ子、香椎くに子、木下華声 83分・T・C・W

11月19日（土） 12時30分

西遊記*

1960年作品 製作=東映動画、大川博 企画=高橋秀行、渾大坊五郎 構成=手塚治虫 脚本=植草圭之助 演出=萩下泰司、手塚治虫、白川大作 原画=森康二、熊川正雄、大塚康生、大工原章、吉沢日出夫 動画=紺野修司、喜多真佐武、楠部大吉郎、奥山玲子、寺千賀雄、吉田迪彦、永沢詢、杉山卓、太宰真知子、中村和子、長沼寿美子 トレイス=進藤みつ子、本橋文枝、宮崎正子、吉田信子 色彩=川島純子、林富喜江、岡迫亘弘 仕上検査=新納三郎 撮影=大塚晴郷、石川光明、杉山健児 錄音=空閑昌敏、森武 音響効果=加納米一 編集=宮本信太郎、井草寛二郎 考証=邱永漢 進行=茂呂清一 動画監修=山本早苗 美術=矢野雅章、沼井肇 色彩=前場孝一 背景=杉本英子、小沢和子、斎藤君子、浦田又治、横井三郎 音楽=服部良一 作詩=西沢爽 歌=山東昭子、佐藤しげみ、ダークダックス 協力=コロムビアレコード 声の出演（東京放送劇団）=小宮山清（孫悟空）、新道乃里子（燐々）、木下秀雄（猪八戒）、篠田節夫（沙悟淨）、関根信昭（三藏法師）、武田国久（釈迦如来）、尾崎勝子（觀世音菩薩）、白坂道子（小竜）、巖金四郎（牛魔王）、加藤玉枝（羅刹女）、川久保潔（金角大王）、風祭修一（銀角大王） 88分・T・C・W

11月19日（土） 3時

安寿と厨子王丸*

1961年作品 製作=東映動画、大川博 企画・構成=高橋勇 脚本=田中澄江（よみうり少年少女新聞連載） 演出=萩下泰司、芹川有吾 動画監修=山本早苗 音楽=木下忠司、鏑木創 原画=大工原章、森康二、大塚康生、吉沢日出夫、熊川正雄、楠部大吉郎 動画=紺野修司、喜多真佐武、奥山玲子、永沢詢、寺千賀雄、吉田迪彦、杉山卓、堀川豊平 美術=鳥居琢誠一 色彩設計=小山礼司 背景=浦田又治、横井三郎、千葉秀雄 考証=露谷虹児 撮影=大塚晴郷、中村一雄、東喬明 錄音=空閑昌敏、森武 音響効果=木村一 編集=宮本信太郎、稻葉郁三 トレイス=進藤みつ子、本橋文枝、宮崎正子、吉田信子 彩色=林富喜江、川島純子、中島祥子 仕上検査=新納三郎 作詞=木下忠司 歌=松島トモ子、能沢佳子、コロステルラ合唱團 製作進行=茂呂清一 声の出演=佐久間良子（安寿）、住田知仁（厨子王丸・少年時代）、北大路欣也（同青春時代）、宇佐美淳也（父・岩木判官）、山田五十鈴（母・八汐）、東野英治郎（山椒太夫）、平幹二郎（長男・次郎）、水木翼（次男・三郎）、山村聰（閑白・藤原師実）、松島トモ子（娘・あや姫）、三島雅夫（判官の上役、鬼倉陸奥守）、花沢徳衛（家来・安藤左内）、利根はる恵（岩木家の侍女・菊乃）、富田仲次郎（奴頭の権六）、永田靖（人貰いの山岡太夫）、清村耕次（船頭・宮崎甚八）、潮健児（船頭・佐渡の辰公）、織田政雄（岩木家の番）、明石潮（国分寺の和尚）、新井茂子（あや姫の侍女）、森弦太郎（清水のならず者）、増田順司（師実の使者）、武藤礼子（岸のチョン子）、大平透（子熊のモク） 83分・T・C・W

11月20日（日） 12時30分（計65分）

ねずみのよめいり

1961年作品 製作=東映 企画=島田太一 構成・演出=白川大作、月岡貞夫 美術=小山礼司 音楽=朝野真悟 作画=月岡貞夫、小林和子、花田玲子、林重行、田村真也 仕上=本橋文枝 撮影=篠崎文男、菅原英明 錄音=石井幸夫 編集=稻葉郁三 監修=森康二 13分・T・C

人間動物園 CLAP VOCALISM*

1961年作品 製作=久里実験漫画工房 作画・演出=久里洋二 詩=谷川俊太郎 音楽=武満徹 声=水島弘、岸田今日子 2分・T・C

LOVE VOCALISM AI*

1963年作品 製作=久里実験漫画工房 動画・撮影・演出=久里洋二 詩=谷川俊太郎 音楽=武満徹 声=水島弘、岸田今日子 4分・T・C

かぐや姫

1961年作品 製作=学習研究社、古岡勝 企画=原正次 本・演出=渡辺和彦 同助手=古賀隆泰 撮影=寺山威 同手=三科博、原耕平 製作担当=伊藤治雄 アニメーター=関口正子、和田京子、井上真佐子、中村協子、寺司香智子（学研アニメーションシステム） 作画=清水耕蔵 同助手=清水富美子 音楽=林光 効果=大野松雄 錄音=田中義造 現像=東洋現像所 声の出演=内村軍一、加藤玉江、山内雅人、斎藤隆、木下秀雄、里見京子 26分・T・C

セロひきのゴーシュ

1963年作品 製作=学研映画、原正次、森下博美 原作=宮澤賢治 脚本・演出=神保まつえ 撮影=相原康雄、寺山威 アニメーション=飯田純子（ゴーシュ）、和田京子（動物・樂長） 色彩効果=渡辺和彦 音楽構成=長瀬世司子 人形=佐々木草装置=酒向満 作曲・編曲=斎藤高順 セロ演奏=清水勝雄 声の出演=加藤弘、上田恵司、松島ミノリ、貴家堂子、増山江威子 錄音=アオイスタジオ、田中義造 現像=東洋現像所 19分・T・C

11月20日（日） 3時

アラビアンナイト シンドバッドの冒險*

1962年作品 製作=東映動画 企画=高橋勇、吉田信、旗野義文 脚本=手塚治虫、北杜夫 演出=萩下泰司、黒田昌郎 動

監修=山本早苗 音楽=富田勲、米山正夫 原画=大工原章、古沢日出夫、熊川正雄、大塚康生、楠部大吉郎、奥山玲子、喜多真佐武、勝井千賀雄 動画=竹内留吉、堰合昇、小田克也、生野徹太、中谷恭子、大田朱美、小田部羊一、月岡貞夫、勝田稔男、吉田茂承、相磯嘉雄、菊池貞雄、児玉喬夫、小林和子、長沼寿美子 美術=進藤誠吾、深井肇 色彩設計=浦田又治 背景=福本智雄、片倉和子、杉本英子、伊藤主計、影山勇、千葉秀雄 トレス=進藤みづ子、滝川紀子、坂本洋子、佐藤信子 彩色=小野弘子、渡部益子、林富喜江、高橋佳子 仕上検査=新納三郎 撮影=杉山健児、中村一雄 録音=空閑昌敏、森武 効果=木村一 編集=稻葉郁三 記録=鈴木安津子 製作進行=茂呂清一 作詞=米山正夫 歌=デニー・白川、真理ヨシコ、太宰久雄、松岡ユキ 合唱=二期会 舞踊=榎原帰逸 声の出演=木下秀雄(シンドバッド)、黒柳徹子(アリー)、滝口順平(船長ハムディ)、太宰久雄(アブダラ)、辻村真人(カシム)、永井一郎(アーマッド王)、新道乃里子(王妃アミーナ)、里見京子(サミール姫)、川久保潔(トルファ大臣)、巖金四郎(漂着した老船員)、斎藤隆、古賀浩二、東京放送劇団 81分・T・C・W

11月26日(土) 12時30分

アンデルセン物語

年作品 製作=東映、大川博 企画=関政次郎、茂呂清一、建脚本=井上ひさし、山元護久 演出=矢吹公郎 作画監督=大工原章 美術=小山礼司 原画=竹内留吉、小田克也、金山通弘、森英樹、木野達児、松原明徳、平川智、平川謹之介 動画=小林敏明、藤本芳弘、小川明弘、笠井晴子、飯田鉢一、富永勤、斎藤瑛子、花田玲子、浅田清隆、柴田圭子、堀池義治、田村真也、正井融、篠原征子、草間真之介、阿久津文雄、佐々木章 色彩設計=辻忠直 背景=小林七郎、池田準、西山英子 演出助手=及部保雄、佐々木勝利 檢査=小椋正豊、西元敦子 調色=谷口洋平 トレス=植木和子、谷口恭子 ゼログラフィ=加藤稔 彩色=関一江、閑口雅子 特殊効果=林富喜江 撮影=林昭夫、白根基万 録音=神原広巳 編集=千歳豊音響 効果=松下喜郎 記録=河島利子 製作進行=古沢義治現像=東映化學 音楽=宇野誠一郎 挿入歌作詞=井上ひさし、山元護久 作曲=宇野誠一郎 うた=高島忠夫、藤田淑子、鈴木やすし、久里千春、ボーカルショップ(朝日ソノラマ、コロムビアレコード) 声の出演=高島忠夫(東宝)、藤村有弘、玉川良一、久里千春、藤田淑子、鈴木やすし、三波伸介、富田耕吉、増山江威子、杉山佳寿子、三輪勝恵、永井一郎、麻生美代子、大竹宏、平井直子、風祭修一、千々松幸子、東映兒童研修所 80分・T・C・W

11月26日(土) 3時(計74分)

人のくらしの百万年

1967年作品 製作=東映 企画=貯蓄増強中央委員会 脚本=「節子」演出=葛下泰次 作画監督=高橋信也 美術=横井一郎 音楽=富田勲 声の出演=朝井ゆかり、富田耕吉・他 ナレーター=大沢嘉子 18分・T・C

おかしなおかしな星の国

1968年作品 製作=東映 企画=貯蓄増強中央委員会 脚本=辻真先 演出=芹川有吾 作画監督=木村圭市郎 美術=福本智雄 音楽=富田勲 声の出演=熊倉一雄、曾我町子・他 20分・T・C

みにくいあひるの子

1968年作品 製作=学研映画 制作=原正次、石川茂樹 原作=アンデルセン 脚本・演出=渡辺和彦 制作担当=神保まつえ 人形アニメーター=和田京子、見米豊、尾崎良 撮影=平井寛、阿部行雄 人形=佐々木章 美術=上田悌三、中村貞雄 音楽=斎藤高順 声=中村メイ子 効果・録音=アオイスタジオ 現像=東洋現像所 20分・T・C

花ともぐら

1970年作品 製作=学研映画 制作=原正次 原作(「花とひみつ」)=星新一(作)、和田誠(画) 脚本・演出=岡本忠成(エコー社) 制作担当=神保まつえ 共同脚本=坂間雅子、来道子 ナレーション=岸田今日子 アニメーション=見来豊、真賀里文子、及川功一 動画=奏泉寺博 人形=田畠精一、保坂純子、斎藤堅 音楽=廣瀬量平 撮影=吉岡謙、田村実 照

明=内田和巳、栗田崇 装置=小前隆、徳山正美、数藤雅三 花=村瀬純子 編集=園尚子 録音=甲藤勇 記録=仲谷光男 柳沢美和子 タイトル=田村実 協力=高橋澄夫 16分・T・C

11月27日(日) 12時30分

太陽の王子 ホルスの大冒険*

1968年作品 製作=東映動画、大川博 企画=関政治郎、相野田悟、原徹、斎藤侑 脚本=深澤一夫 演出=高畠勲 音楽=間宮芳生 美術=浦田又治 作画監督=大塚康生 原画=森康二、奥山玲子、小田部羊一、宮崎駿、大田朱美、菊池貞雄、喜多真佐武 動画=生野徹太、堰合昇、吉田茂承、相磯嘉男、山下恭子、坂野隆雄、薄田嘉信、坂野勝子、黒沢隆夫、阿部隆、の場茂夫、池原昭治、服部照夫、角田紘一、村松錦三郎、石山謙緒、長沼寿美子、山田みよ トレス=入江三帆子、黒沢和子 彩色=岸本弘子、宮本慶子 特殊仕上=平尾千秋 仕上検査=新納三郎 背景=土田勇、井岡雅宏、内川文広 演出助手=竹田満、笠井田勝 撮影=吉村次郎、片山幸男 編集=千歳豊 録音=神原広巳 効果=大平紀義 記録=の場節代 製作進行=吉岡修 主題歌・挿入歌=深澤一夫(作詞)、間宮芳生(作曲) 歌=調布少年少女合唱隊(「ホルスの歌」「子供たちの歌」)、日本合唱隊(「魚とりの歌」「ピリアとルサンの歌」)、増田瞳美(「ヒルダの歌」)、水垣洋子(「ピリアとルサンの歌」) 声の出演=大方斐紗子(ホルス)、市原悦子(ヒルダ)、平幹二朗(グランワルド)、三島雅夫(村長)、永田靖(ドラーゴ)、横森久(トト)、横内正(モーグ)、赤沢亜紗子(ピリア)、堀絢子(ボトム)、小原乃梨子(チロ)、朝井ゆかり(コロ)、水垣洋子(マウニ)、東野英治郎(ガンコ)、神山寛(村人)、阿部百合子(若い女)、立花一男(村人)、津坂匡章(ルサン)、檜よしえ(村の女)、杉山徳子(チャハル) 82分・T・C・W

11月27日(日) 3時

長靴をはいた猫*

1969年作品 製作=東映動画、大川博 企画=関政次郎、有賀健、渋谷幹雄 原作=シャルル・ペロー 脚本=井上ひさし、山元護久 演出=矢吹公郎 ギャグ監修=中原弓彦 作画監督=森康二 美術=浦田又治、土田勇 音楽=宇野誠一郎 原画=大塚康生、奥山玲子、菊池貞雄、小田部羊一、大田朱美、宮崎駿、大工原章 動画=堰合昇、吉田茂承、斎藤智、坂野隆雄、小林敏明、小川明弘、藤本芳弘、松原明徳、飯田鉢一、坂野勝子、田村真也、黒沢隆夫、浅田清隆、篠原征子、阿久津文雄、正井融、池原昭治、堀池義治、服部照夫、角田紘一、草間真之介、長沼寿美子、山田みよ 背景=内川文広、伊藤英治、牧野光成、城戸求 トレス=保田道世、武田澄子 ゼログラフィ=松本寿夫 彩色=宮本慶子、平田正子 特殊効果=平尾千秋 檢査=新納三郎、森川桂士 調色=谷口洋平 撮影=平尾三喜、高梨洋一 編集=千歳豊 録音=神原広巳 音響効果=大平紀義 記録=河島利子 演出助手=及部保雄、蕪木登喜司 製作進行=古沢義治 作詞=井上ひさし、山元護久 作曲=宇野誠一郎 歌=石川進、水垣洋子、ボーカルショップ、トリオ、ボワーン 声の出演=石川進(ペロ)、藤田淑子(ピエール)、榎原ルミ(ローザ姫)、水森亜土(殺し屋)、水垣洋子(角の首領)、熊倉一雄(角の首領)、内海賢二(ダニエル)、八代駿(レーモン)、愛川欽也(殺し屋の首領)、小池朝雄(魔王)、益田喜頓(王様) 80分・T・C・W

12月3日(土) 12時30分(計62分)

やさしいライオン

1969年作品 制作=虫プロダクション、手塚治虫 原作・演出=やなせたかし(フレーベル館版より) 企画協力=西北プロダクション 制作担当=富岡厚司 同補佐=下崎闇 アニメーション=赤堀幹治、中村和子、上口照人、金山明博、松山マヤ、渡辺佳子、内海武雄、山守博昭 背景=阿土延子、西村邦子、田辺めぐみ トレス=島野昌子 彩色=阿部マリ子 ブラシ=橋爪朋二 撮影=森昭彦 編集=松浦典良 現像=東洋現像所 作詞=やなせたかし 作曲=磯部倣 編曲=寺島尚彦 演奏=寺島尚彦とリズムシャンソネット+ストリングス 唄=ボニー・ジャックス、久里千春(ブルーブルの子守唄) 声=久里千春、増山えい子 音響=田代教己(TAC) 効果=石田サウンドグループ 録音スタジオ=東京スタジオセンター 27分・T・C

チコタン ぼくのおよめさん

1971年作品 製作=学研映画 企画・制作=原正次 脚本=岡本忠成、坂間雅子、来道子、田村実 演出=岡本忠成 制作担当=神保まつえ 作曲=南安雄 作詩=蓬萊泰三 歌=西六郷少年少女合唱団 (日本コロムビアレコード「チコタン」より) アニメーション=真賀里文子、秦泉寺博、及川功一 撮影=吉岡謙、田村実 美術=小前隆、徳山正美、数藤雅三 編集=園尚子 協力=田畠精一 現像=東洋現像所 11分・T・C

てんまのとらやん

1971年作品 製作=ビデオ東京、アニメーションによる表現の会、河野秋和、近藤巖、森谷玄 企画=大村英之助 脚本=加藤盟 演出=中村武雄、河野秋和とコンテ構成=田中徹 アニメーション=中村武雄 同助手=高橋千里 人形制作=小室一郎 同助手=仲沢照江 撮影=高森斐斐、同助手=平田礼一 美術=山下宏 同助手=野呂真一、星野浅黄 照明=浅沼旦生 編集=矢走直子 音楽=宮崎尚志 コーラス=フォー・コインズ 協力=田畠博司、与儀陸栄、飯塚茂、荒木靖一、喜多京子、石井マリ子、佐藤三郎、西川喜典、朝比景子 録音=アオイ・スタジオ 現像=東京現像所 17分・T・C

鬼

1972年作品 製作・演出・アニメーション=川本喜八郎 作曲=鶴沢清治 演奏=鶴沢清治 (三味線) 山口五郎 (尺八) 美術=壬生露彦、中川涼 撮影=吉岡謙、田村実 録音=伊藤一男 編集=園尚子 協力=後藤時成、斎藤堅、早川明子、丸山淳子、エコースタジオ 8分・T・C

12月3日(土) 3時(計68分)

モチモチの木

1972年作品 製作=学研映画 企画・制作=エコー社 原作=斎藤隆介 脚本・演出=岡本忠成 アニメーション=藤森誠代、尾崎良、岡本忠成 人形=保坂純子、若佐ひろみ、数藤雅三 背景=小前隆、徳山正美 撮影=吉岡謙、田村實 編集=園尚子 録音=甲藤勇 進行=東川洋子 現像=東洋現像所 作曲・演奏=鶴沢清治 語り=豊竹呂大夫 17分・T・C

詩人の生涯

1974年作品 製作・演出=川本喜八郎 原作=安部公房 (新潮社版) 音楽=湯浅譲二 演奏=高橋アキ、山口保宣 美術=小前隆、徳山正美 撮影=田村実 録音=甲藤勇 効果=高橋巖 編集=相沢尚子 アニメーション=川本喜八郎 同助手=見米豊、石川隆男 協力=小西明子、那須千歳、若佐ひろみ、丸岡征也、吉田悟、エコースタジオ 19分・T・C

あれはだれ?

1976年作品 製作=日本記録映画研究所 製作=もぎまさとし、おかともただなり 企画・配給=エコー、日本記録映画研究所 原作=東平君政 (「おはようどうわ」より) 語り=きしだきょうこ 作曲=ひぐちやすお 音楽制作=おおもりあきお アニメーション=おざきりょう、ぶじもりまさよ、よしださとる、みねぎしひろかず、おおむかいときこ 美術=こまえたかし、とくやまさみ 人形=ほさかすみこ 撮影=たむらみのる 録音=かかとういさむ 編集=あいざわひさこ 進行=ひがしかわようこ 21分・T・C

ちからばし

1976年作品 製作=エコー社 原作=小泉八雲 (『梅津忠兵衛』より) 脚本・演出=岡本忠成 アニメーション=尾崎良、峰岸裕和、大向とき子 美術=小前隆、徳山正美 人形=保坂純子 撮影=田村実 編集=相沢尚子 語り=岸田今日子 作曲・三味線=鶴沢清治 笛=中川善男 打楽器=藤舎成敏 録音=甲藤勇 効果=高橋巖 進行=東川洋子 タイトル=斎藤丹鶴 現像=東洋現像所 11分・T・C

■11月1日から7日までは昭和63年度教育文化週間にあたりますが、この内、11月3日(木)文化の日には、上記のアニメーション映画を上映し、入館料は無料と致します(先着270名)。

■以上の上映スケジュール表に示す、題名・クレジット等は、フィルムより直接写し取ったものを、できる限り忠実に表記したものです。アニメーション映画史の基礎資料として、F C 46と共に御活用下さい。尚、*印の付いた作品のクレジットは、「日本アニメーション映画史」(山口且訓・渡辺泰共著、有文社刊)等の文献資料をもとに、クレジットを記載しております。

■アニメーション作品には、改題版・改編版が多く、このスケジュール表では、フィルム上の題名・バージョンを優先しています。

12月4日(日) 12時30分

白鳥の王子

1977年作品 製作=東映 製作=今田智憲 企画=有賀健、旗野義文 脚本=隆巴(グリム童話、アンデルセン童話より) 演出=西沢信孝 制作担当=白根徳重 音楽=小森昭宏 主題歌(コロムビアレコード、朝日ソノラマ)=隆巴(作詞) 小森昭宏(作曲) 増山江威子、大杉久美子(うた) レイアウト・場所設定=角田紘一 原画=角田紘一、金山通弘、森英樹、木野達児、の場茂夫、広田全、荒木伸吾、小泉謙三、富永貞義、菊地貞雄、木下勇喜、朝戸澄子 動画=小川明弘、坂野隆雄、小林敏明、服部照夫、石山毬緒、金山圭子、薄田嘉信、田村晴夫、草間真之介、高野登、山田みよ、平川やすし、長沼寿美子、上梨壱也 トレース=坂野園江、谷口恭子、奥西紀美子 彩色=古屋純子、佐藤道代、土田久美子、後藤美津子 ゼログラフ=富永勤、戸塚友子 特殊効果=平尾千秋、佐藤章二 仕上検査=小椋正豊、坂本陽子 背景=遠藤重義、海老沢一男、松本健治、田中資幸、野崎俊郎 記録=大橋千加子 仕上進行=平賀豊彦 美術進行=阿久津文雄 演出助手=遠藤勇二 製作進行=佐々木章 撮影=細田民男、平尾三喜 音響効果=伊藤道広(E&M) 録音=井関保雄 録音=二宮健治 現像=東映化學 声の出演=増山江威子、岩崎加根子、宮崎恭子、近藤洋介、杉山とく子、望月太郎、可知靖之、小林尚臣、小宮山清、つかせのりこ、神谷明、古谷徹、後藤みのり、神崎敦子、俳優座、青二プロ 美術監督=千葉秀雄 作画監修=阿部隆 61分・T・C・W

12月4日(日) 3時(計66分)

道成寺

1976年作品 製作・脚本・演出=川本喜八郎 音楽=松村禎三 美術=壬生露彦、中川涼 人形=川本喜八郎、若佐ひろみ、高橋佳代子 撮影=田村実 録音=甲藤勇 効果=高橋巖 編集=相澤尚子 現像=東洋現像所 アニメーション=川本喜八郎、尾崎良、峰岸裕和、大向とき子 エフェクトアニメーション=秦泉寺博、小前隆、徳山正美、横坂千鶴子 協力=吉田悌三、瀬古澤靜、滝口明子、浅海三和子、穂坂かほる、斎藤堅、丸岡征也、川端紀征、エコースタジオ 題字=後藤英夫 19分・T・C

野ばら

1976年作品 製作=東京中央プロダクション 製作=庄司洵 作=小川未明 映像・演出=高橋克雄 朗読=七尾伶子 音楽=林千尋 配給=教育映画配給社 19分・T・C

火宅能「求塚」より

1979年作品 製作=川本プロ 脚本・演出=川本喜八郎 語り=観世静夫 音楽=武満徹 演奏=東京コンサート 美術=小前隆、徳山正美、原口智生 背景原画=壬生露彦 小道具=中川涼 撮影=田村実 録音=甲藤勇 効果=高橋巖 編集=相澤尚子 現像=東洋現像所 人形=川本喜八郎、穂坂か、刺繡=栗山武子 アニメーション=川本喜八郎、峰岸裕和、大向とき子、吉田悟、宮澤みきお、秦泉寺博 協力=阿部弘、三木淳一、鯨井実、柴田和子、田嶋富美子、宗形泰子、丸岡征也、川端紀征、白髭くみ子、エコースタジオ 題字=後藤英夫 19分・T・C

ピカドン

1979年作品 製作=スタジオ・ロータス、林大三郎、山川紀夫 脚本=木下小夜子 演出=木下蓮三 音楽=小六礼次郎、平野謙一郎 効果=中根彬 原画=木下蓮三 動画=木下小夜子 背景=福田隆義、宮本清司 撮影=磯部覚、稻谷昭一郎 録音=シネビーム 現像=東洋現像所 協力=財団法人広島平和文化センター、広島平和教育映画ライブラリー 配給=広島映画センター 9分・T・C

会場 東京国立近代美術館・講堂 千代田区北の丸公園3 地下鉄・竹橋(東西線)下車

お問い合わせ 東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-7-6 ☎561-0823